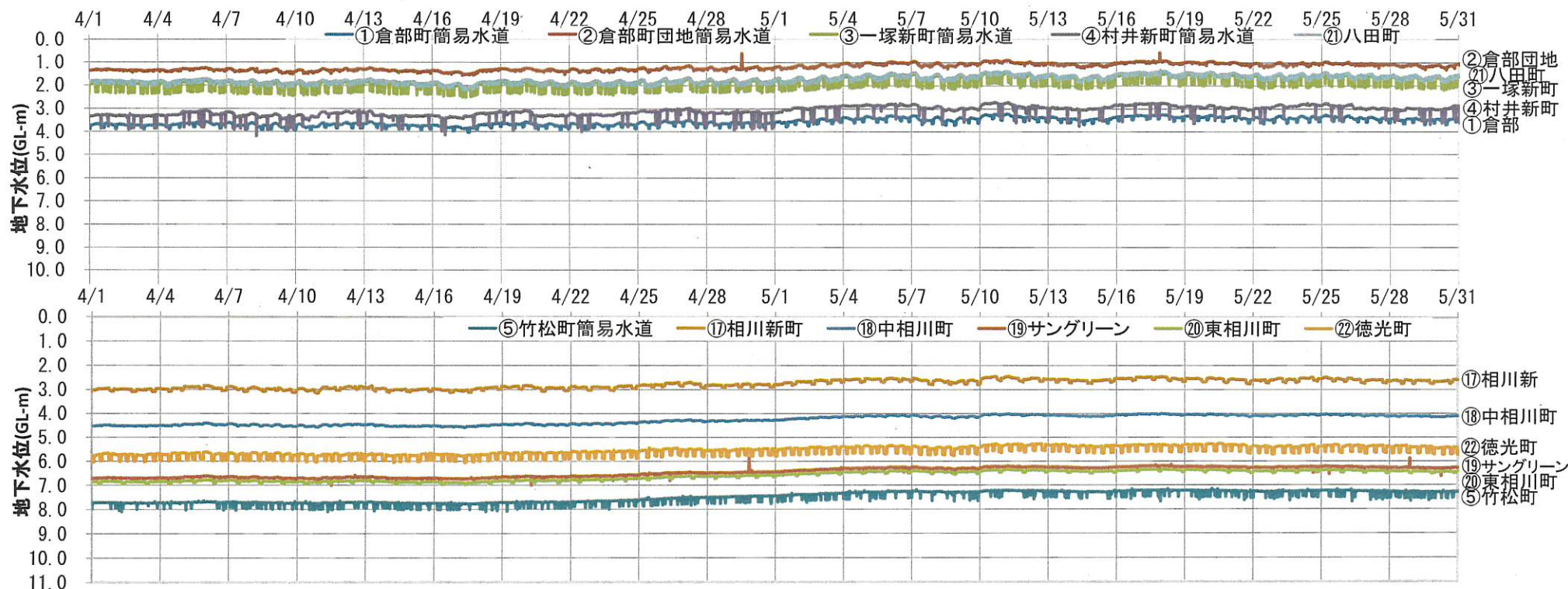


松任工業用水道 令和2年度地下水位影響調査結果全23箇所の地下水位経時変化図 (R2.4月~R2.5月) (1/2)



4月
説明

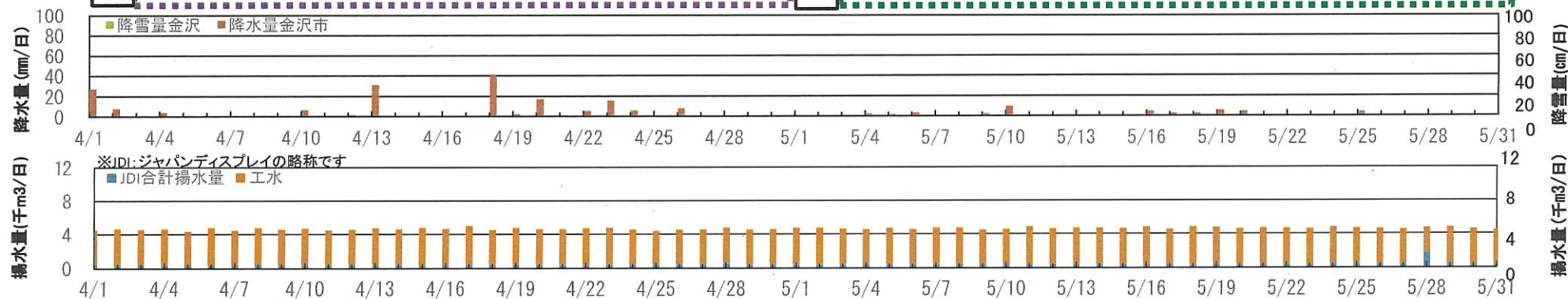
R2.4月地下水位状況

地下水位に大きな変動は認められませんが、4/20頃から僅かに上昇傾向を示しています。
例年この時期から上昇傾向を示しており、雪解け水や水田からの涵養によるものと考えられます。
4月の降水量は平年並みでした。当該地域の地下水位は、今後しばらくの間は緩やかな上昇傾向を示すと予想されます。
松任工水を含めた地下水使用量は4,600m³/日程度で前月と比べて大きな変化はありません。

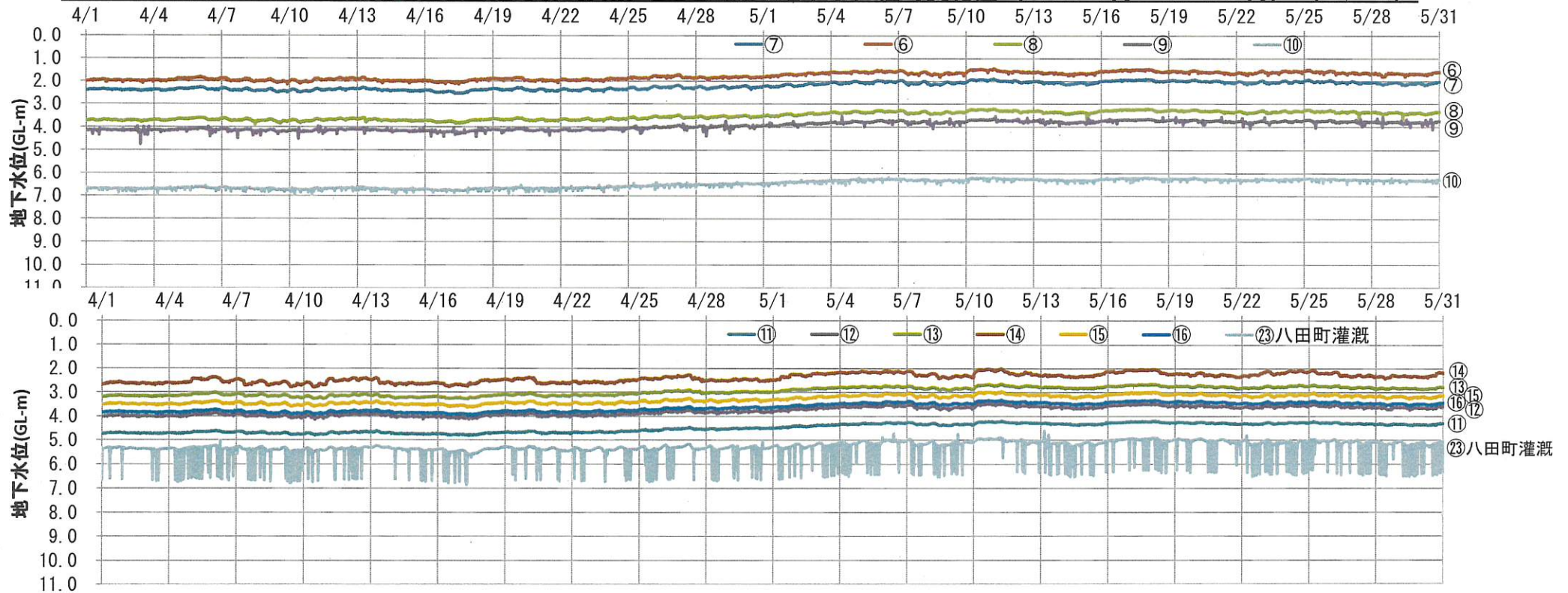
5月
説明

R2.5月地下水位状況

当該地域の地下水は、4月末頃に若干上昇した後、概ね安定しています。
5月の降水量は平年の1/4程度と少なかったため、今後水位は低下傾向を示すと予想されますが、基本的には季節変動の範囲内です。
松任工水を含めた地下水使用量は4,600m³/日程度で大きな変化はありません。



松任工業用水道 令和2年度地下水位影響調査結果全23箇所の地下水位経時変化図 (R2.4月~R2.5月) (2/2)



4月
説明

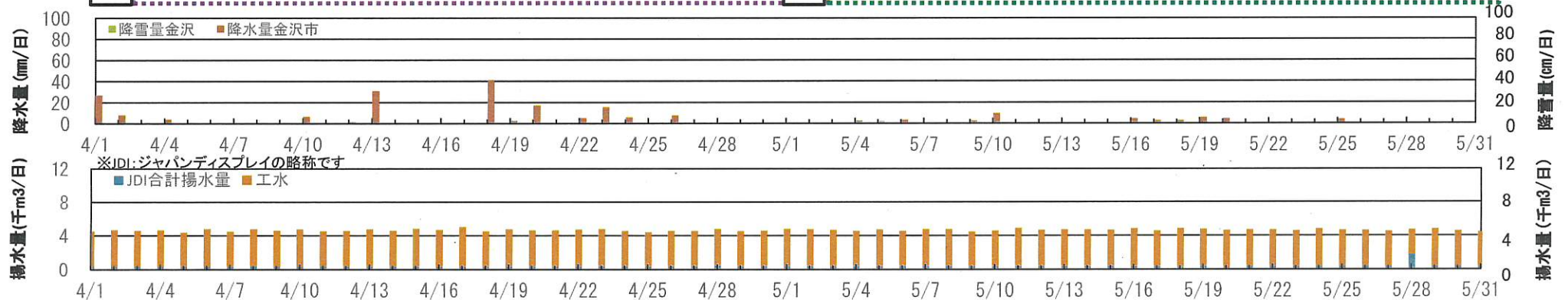
R2.4月地下水位状況

地下水位に大きな変動は認められませんが、4/20頃から僅かに上昇傾向を示しています。
例年この時期から上昇傾向を示しており、雪解け水や水田からの涵養によるものと考えられます。
4月の降水量は平年並みでした。当該地域の地下水位は、今後しばらくの間は緩やかな上昇傾向を示すと予想されます。
松任工水を含めた地下水使用量は4,600m³/日程度で前月と比べて大きな変化はありません。

5月
説明

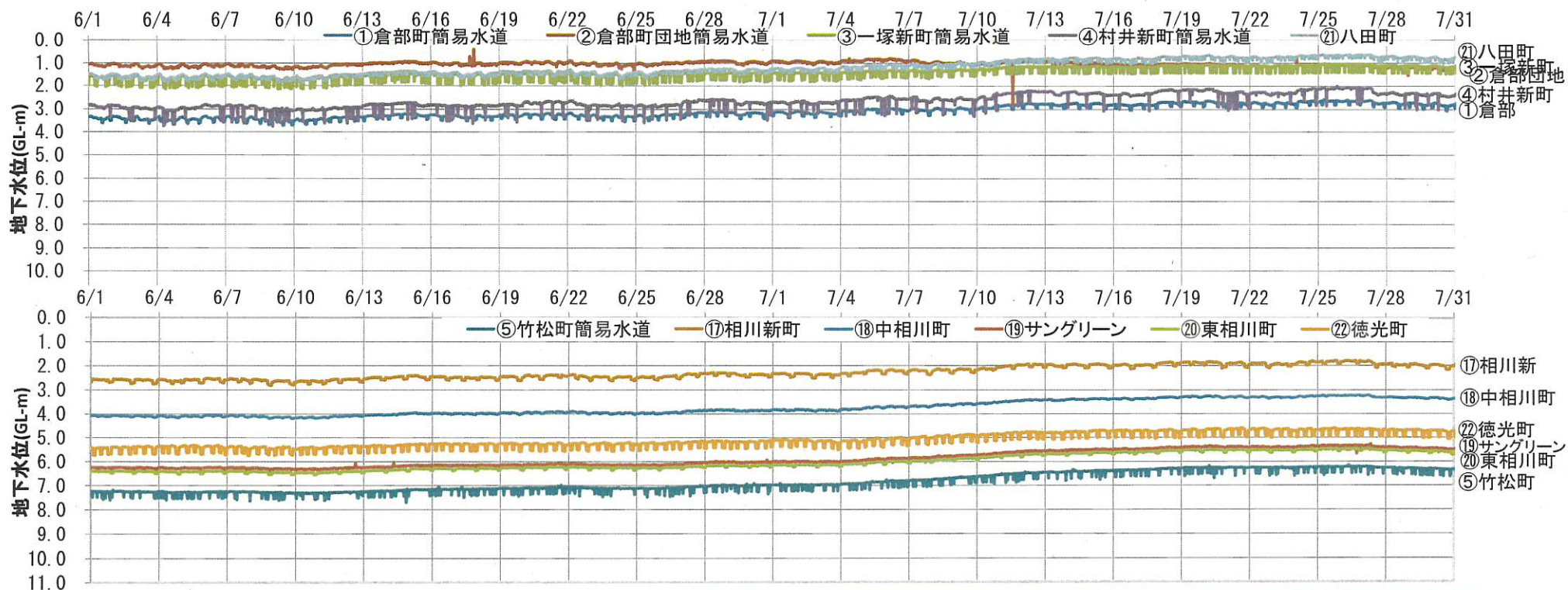
R2.5月地下水位状況

当該地域の地下水は、4月末頃に若干上昇した後、概ね安定しています。
5月の降水量は平年の1/4程度と少なかったため、今後水位は低下傾向を示すと予想されますが、基本的には季節変動の範囲内です。
松任工水を含めた地下水使用量は4,600m³/日程度で大きな変化はありません。



※JDI: ジャパンディスプレイの略称です
■ JDI合計揚水量 ■ 工水

松任工業用水道 令和2年度地下水位影響調査結果全23箇所の地下水位経時変化図 (R2.6月~R2.7月) (1/2)



6月
説明

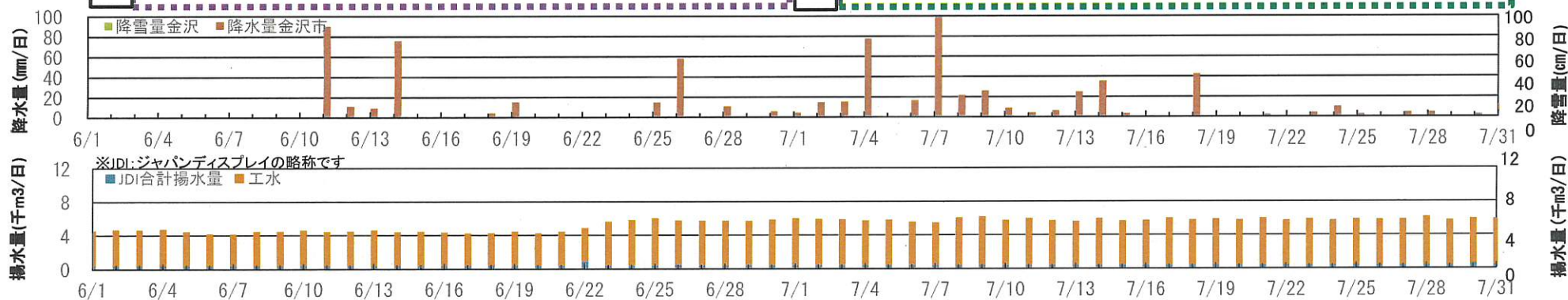
R2.6月地下水位状況

当該地域の地下水は、5月の降水量が少なかったため、わずかに低下傾向を示していましたが、6/11頃にまとまった降水が認められ、以降は若干上昇傾向に転じています。
松任工水を含めた地下水使用量は4,700m³/日程度で6月後半から若干増加しています。

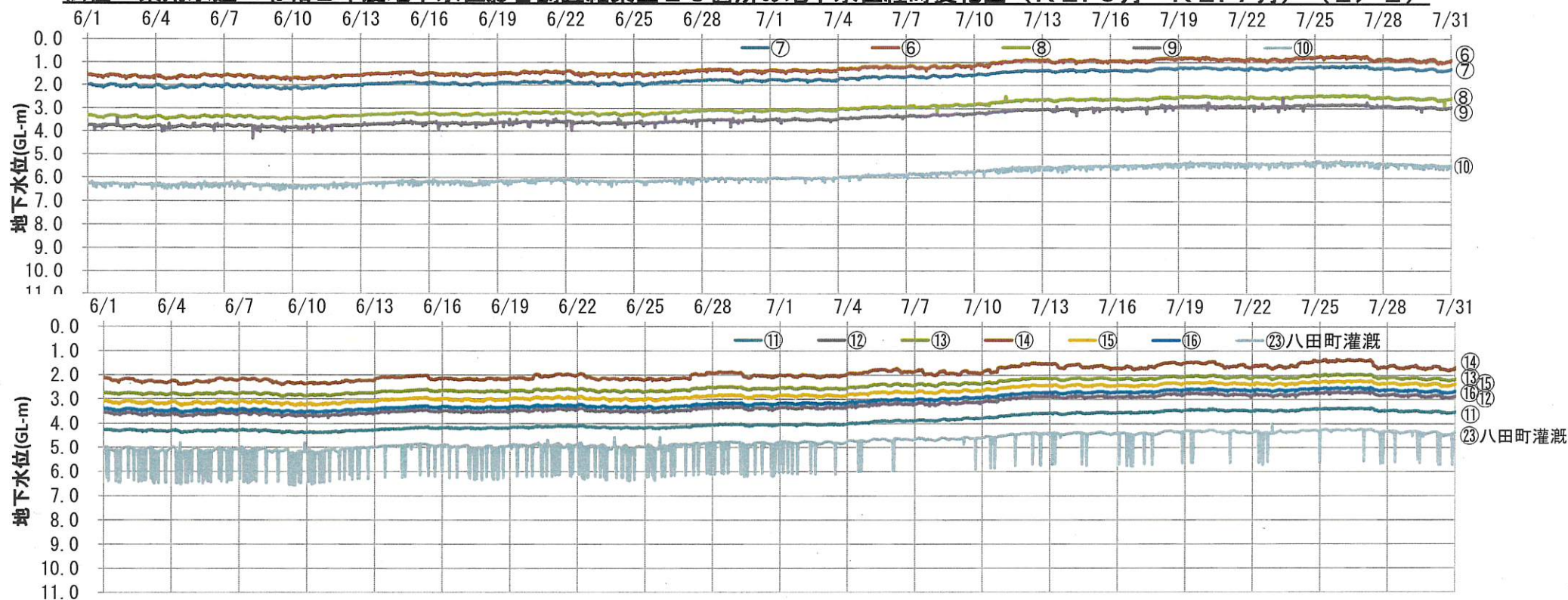
7月
説明

R2.7月地下水位状況

当該地域における7月の降水量は平年の2倍弱であったため、水位は7月前半より上昇傾向を示しています。特に降水が集中した7月前半から中旬にかけて水位が上昇傾向にあります。
また、地下水位自体は観測を始めてから最も高いレベルとなっています。
松任工水を含めた地下水使用量は5,800m³/日程度で前月と比べ増加しています。



松任工業用水道 令和2年度地下水位影響調査結果全23箇所の地下水位経時変化図 (R2.6月~R2.7月) (2/2)



6月
説明

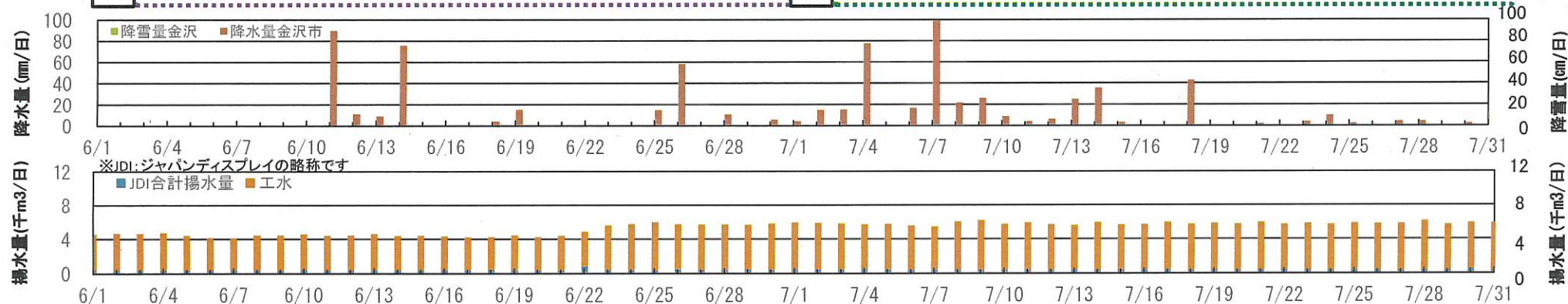
R2.6月地下水位状況

当該地域の地下水は、5月の降水量が少なかったため、わずかに低下傾向を示していましたが、6/11頃にまとまった降水が認められ、以降は若干上昇傾向に転じています。松任工水を含めた地下水使用量は4,700m³/日程度で6月後半から若干増加しています。

7月
説明

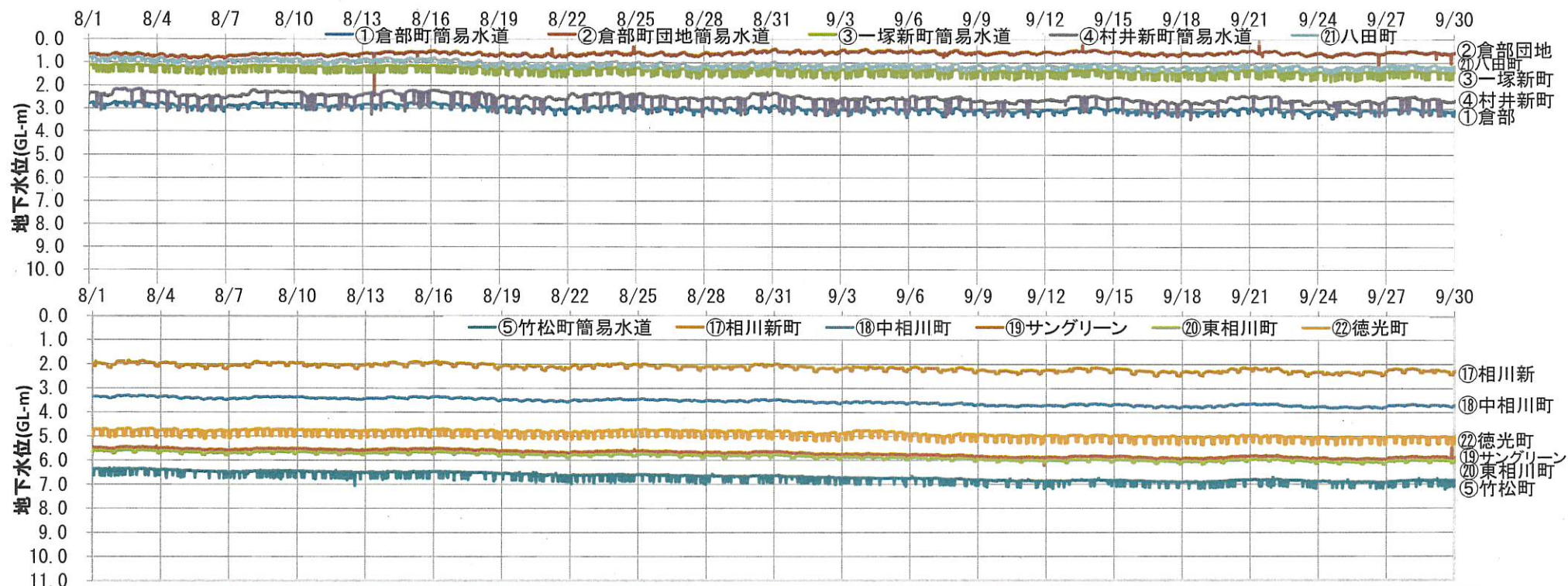
R2.7月地下水位状況

当該地域における7月の降水量は平年の2倍弱であったため、水位は7月前半より上昇傾向を示しています。特に降水が集中した7月前半から中旬にかけて水位が上昇傾向にあります。また、地下水位自体は観測を始めてから最も高いレベルとなっています。松任工水を含めた地下水使用量は5,800m³/日程度で前月と比べ増加しています。



※JDI: ジャパンディスプレイの略称です

松任工業用水道 令和2年度地下水位影響調査結果全23箇所の地下水位経時変化図 (R2.8月~R2.9月) (1/2)



8月
説明

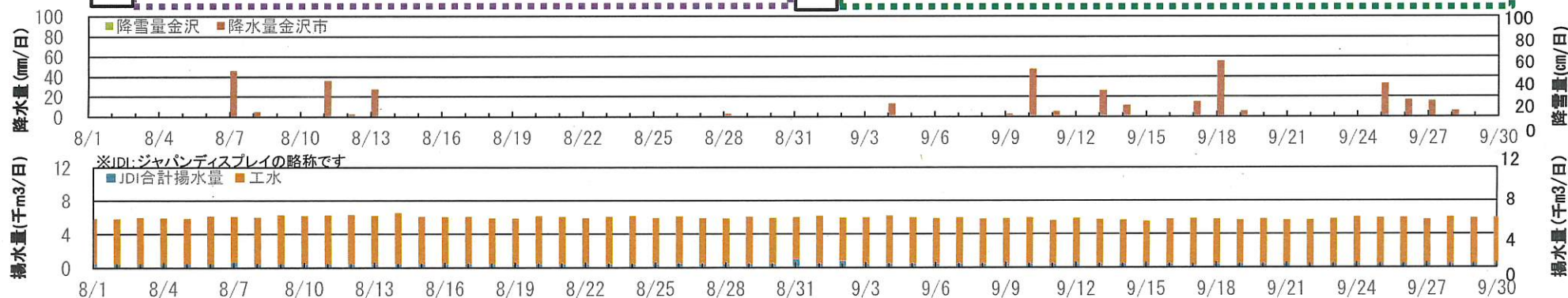
R2.8月地下水位状況

当該地域の地下水位は低下傾向にありますが、これは8月の降水量が平年以下であったことが主たる要因と考えられ、基本的には季節変動の範囲内です。
松任工水を含めた地下水使用量は6,000m³/日程度で、大きな変化はありません。

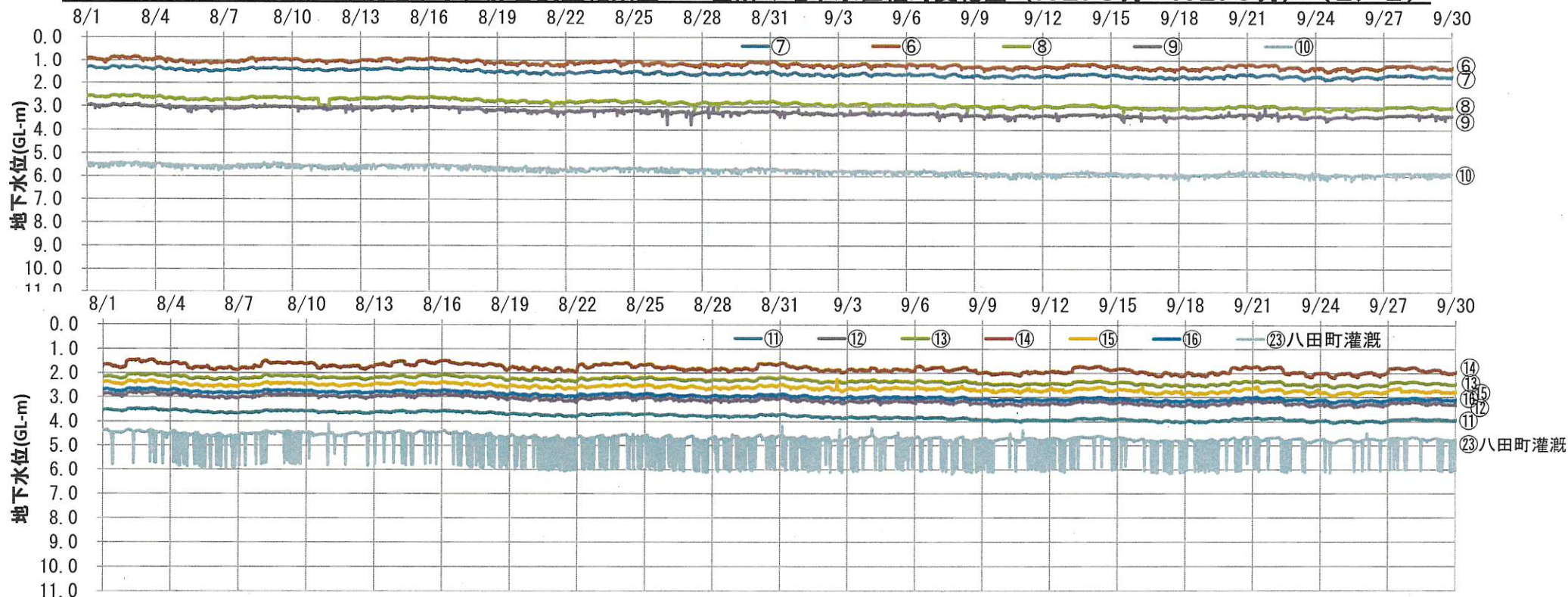
9月
説明

R2.9月地下水位状況

当該地域の地下水位は8月末ごろまで緩やかに低下していましたが、9月以降はおおむね安定しており、基本的には季節変動の範囲内です。
松任工水を含めた地下水使用量は一日平均約5,800m³/日と大きな変化はありません。



松任工業用水道 令和2年度地下水位影響調査結果全23箇所の地下水位経時変化図 (R2.8月~R2.9月) (2/2)



8月
説明

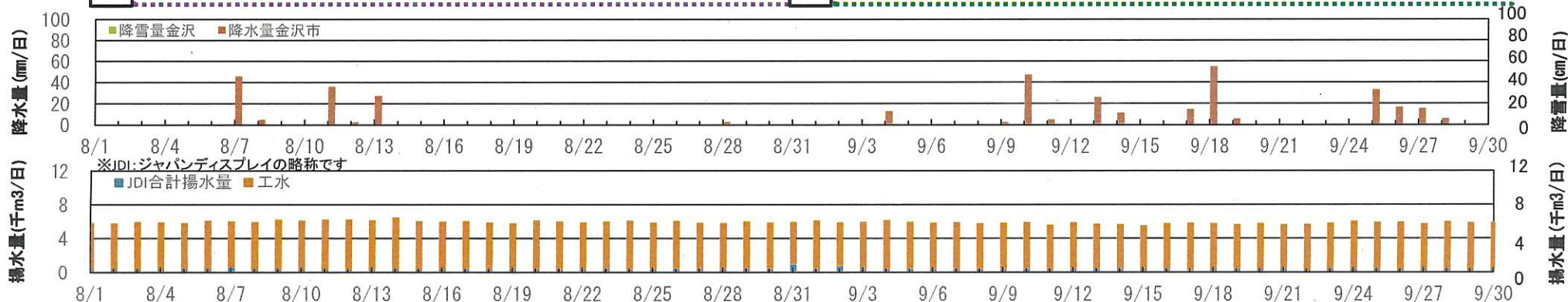
R2.8月地下水位状況

当該地域の地下水位は低下傾向にありますが、これは8月の降水量が平年以下であったことが主たる要因と考えられ、基本的には季節変動の範囲内です。
松任工水を含めた地下水使用量は6,000m³/日程度で、大きな変化はありません。

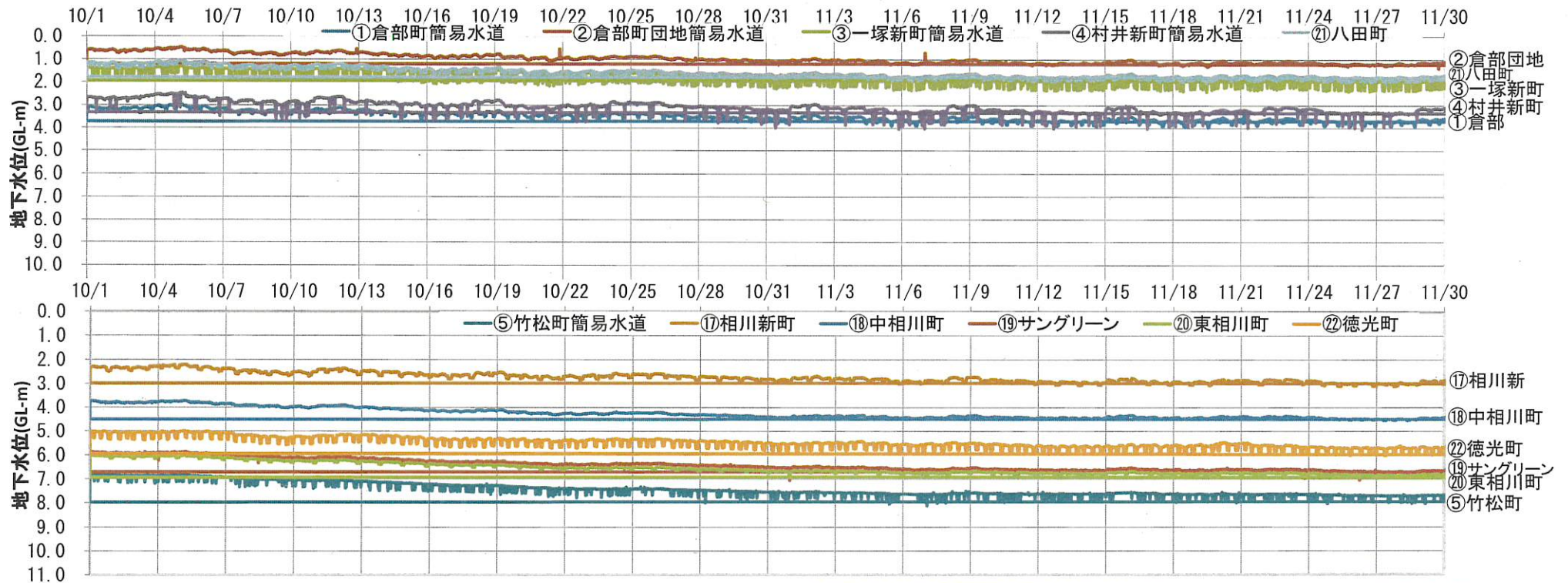
9月
説明

R2.9月地下水位状況

当該地域の地下水位は8月末ごろまで緩やかに低下していましたが、9月以降はおおむね安定しており、基本的には季節変動の範囲内です。
松任工水を含めた地下水使用量は一日平均約5,800m³/日と大きな変化はありません。



松任工業用水道 令和2年度地下水位影響調査結果全23箇所の地下水位経時変化図（R2.10月～R2.11月）（1／2）



10月
説明

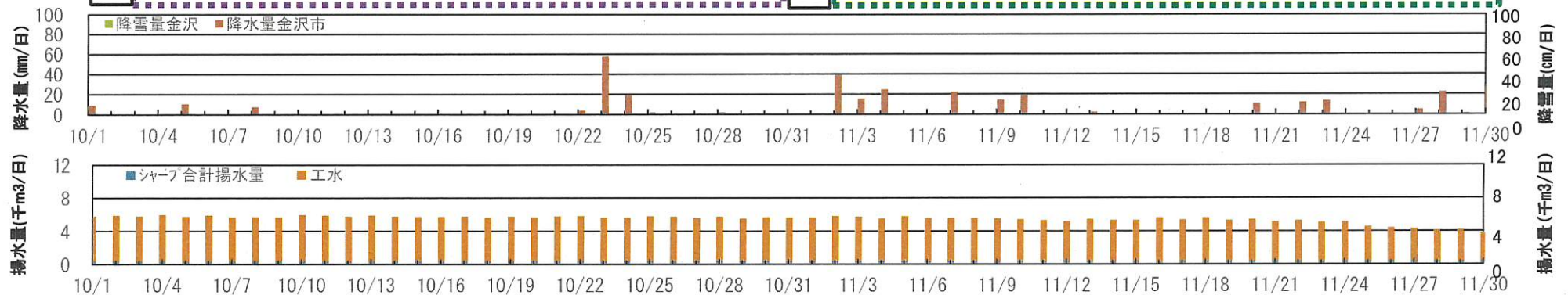
R2.10月地下水位状況

当該地域の地下水位は10月以降緩やかに低下しています。10月の降水量が平年の6割程度であったことが原因の一つと考えられますが、基本的には季節変動の範囲内です。
松任工水を含めた地下水使用量は日平均約5,700m³と大きな変化はありません。

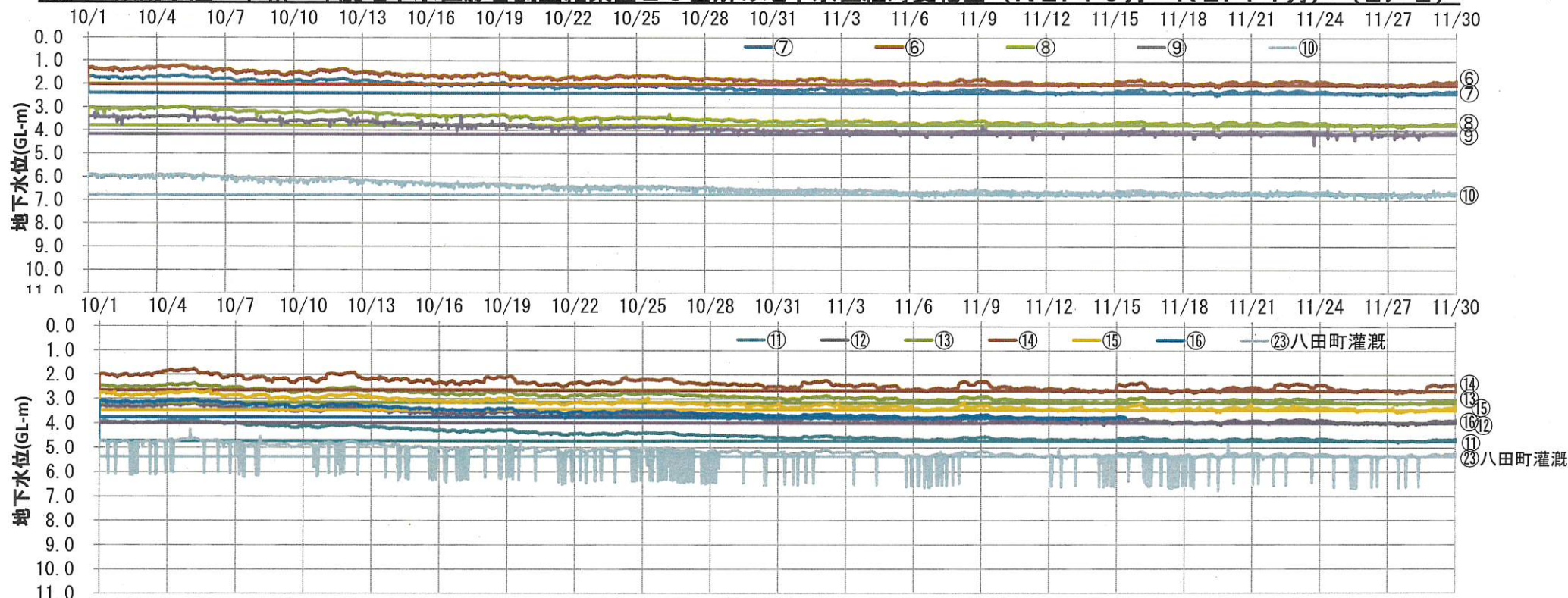
11月
説明

R2.11月地下水位状況

当該地域の地下水位は先月から引き続き緩やかに低下していますが、季節変動の範囲内です。
11月の降水量は236mmと平年並みの雨量でした。
松任工水を含めた地下水使用量は日平均約5,200m³でした。



松任工業用水道 令和2年度地下水位影響調査結果全23箇所の地下水位経時変化図 (R2.10月~R2.11月) (2/2)



10月
説明

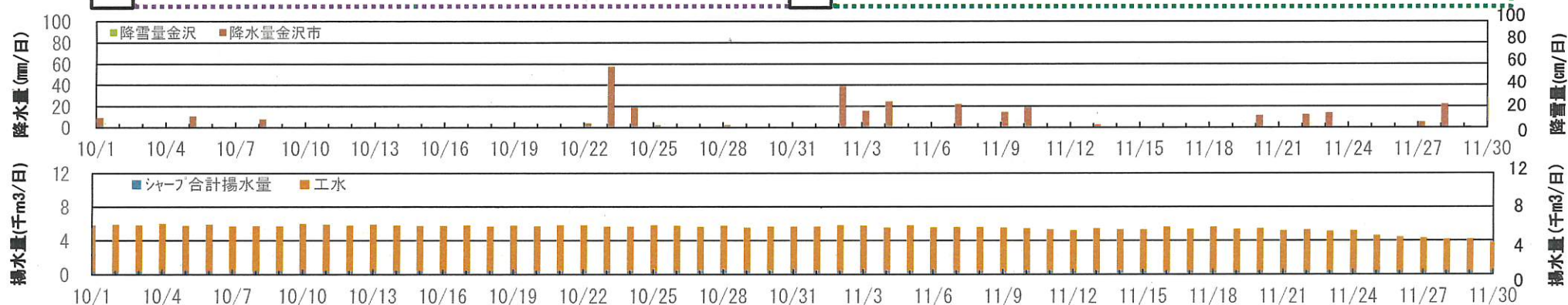
R2.10月地下水位状況

当該地域の地下水位は10月以降緩やかに低下しています。10月の降水量が平年の6割程度であったことが原因の一つと考えられますが、基本的には季節変動の範囲内です。
松任工水を含めた地下水使用量は日平均約5,700m³で、大きな変化はありません。

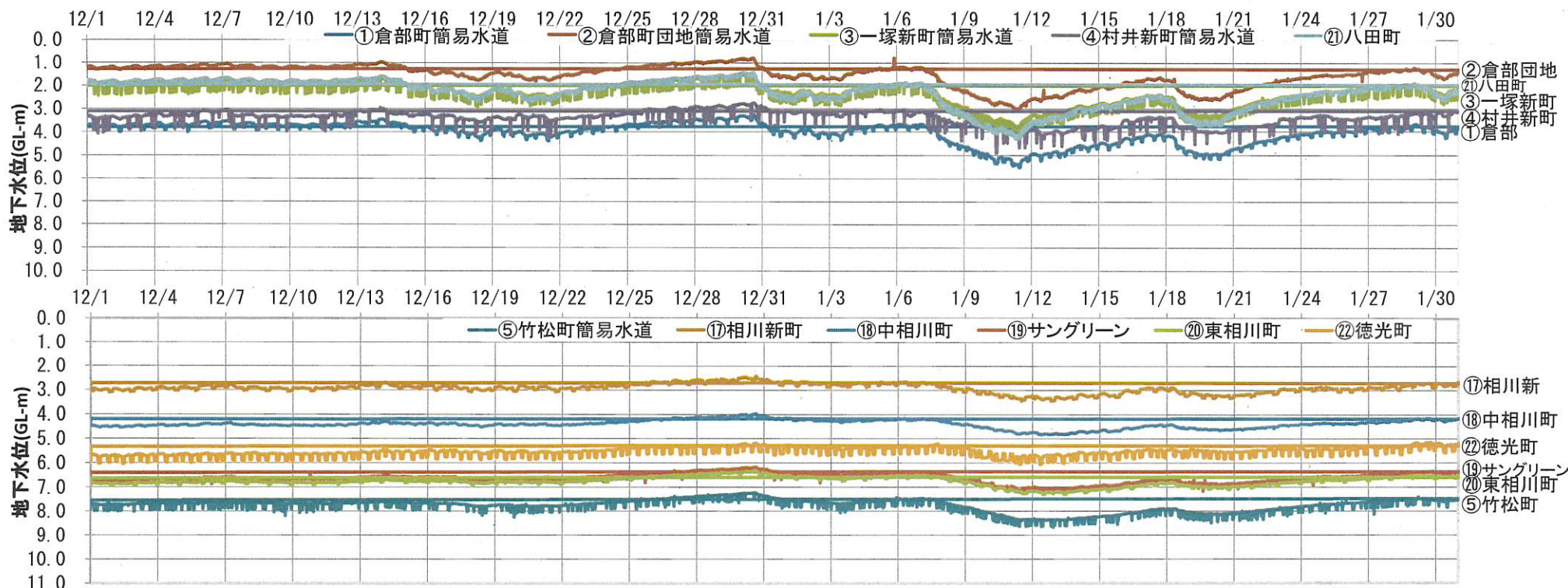
11月
説明

R2.11月地下水位状況

当該地域の地下水位は先月から引き続き緩やかに低下していますが、季節変動の範囲内です。
11月の降水量は236mmと平年並みの雨量でした。
松任工水を含めた地下水使用量は日平均約5,200m³でした。



松任工業用水道 令和2年度地下水位影響調査結果全23箇所の地下水位経時変化図 (R2.12月~R3.1月) (1/2)



12月
説明

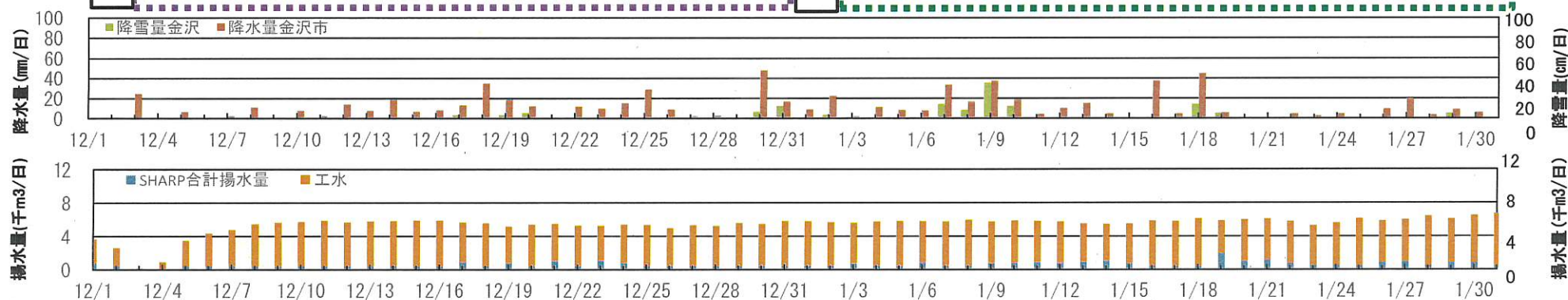
R2.12月地下水位状況

12月は前月に比べ降水量も多く地下水位は上昇傾向にありましたが、後半の降雪に伴い散水消雪井戸の稼働によると推定される水位低下が認められます。
地下水位自体は、季節変動の範囲内です。
松任工水を含めた地下水使用量は日平均で4,900m³でした。

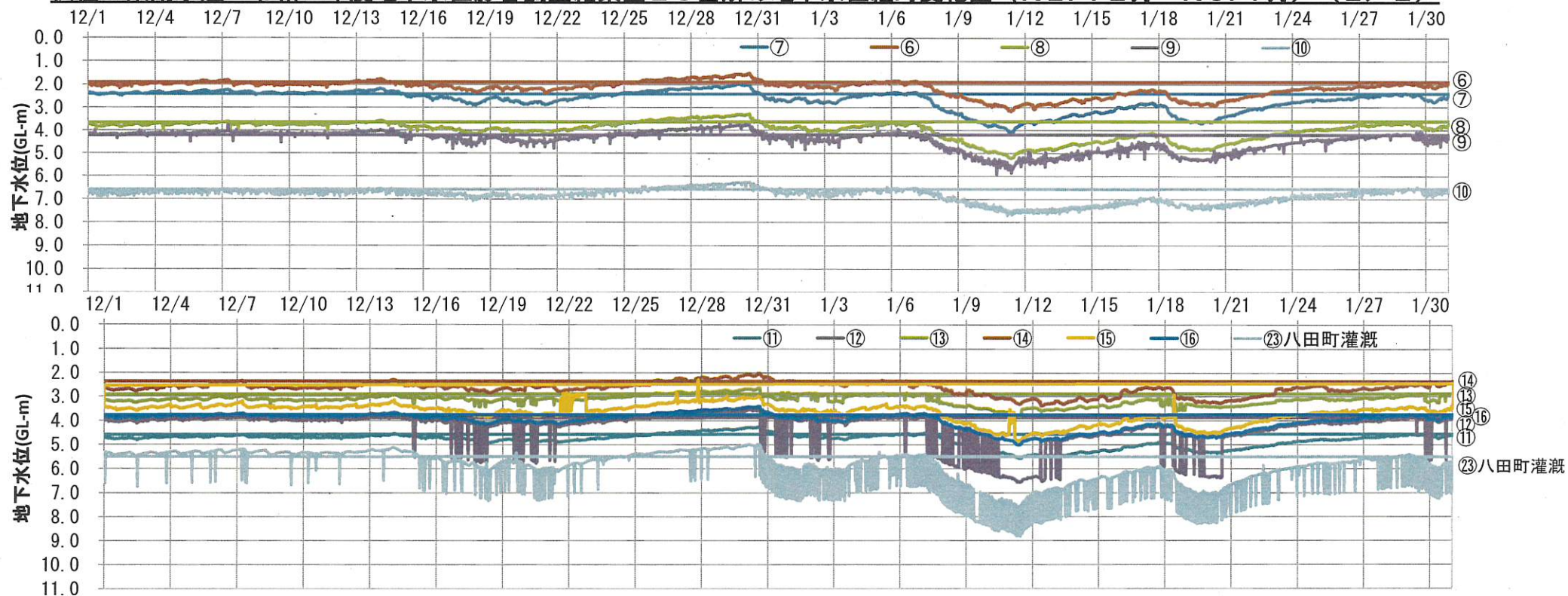
1月
説明

R3.1月地下水位状況

1月初旬から中旬にかけて断続的に降雪があり、散水消雪井戸の稼働によると推定される水位低下が認められます。
地下水位の低下は金沢市に近いエリアで大きくなっています。断続的な降雪が消息すると地下水位は回復傾向を示しており、1月末には地下水位は降雪前のレベルまで戻っています。
松任工水を含めた地下水使用量は日平均で5,800m³でした。



松任工業用水道 令和2年度地下水位影響調査結果全23箇所の地下水位経時変化図 (R2.12月~R3.1月) (2/2)



12月

R2.12月地下水位状況

12月は前月に比べ降水量も多く地下水位は上昇傾向にありましたが、後半の降雪に伴い散水消雪井戸の稼働によると推定される水位低下が認められます。

地下水位自体は、季節変動の範囲内です。

松任工水を含めた地下水使用量は日平均で4,900m³でした。

説明

1月

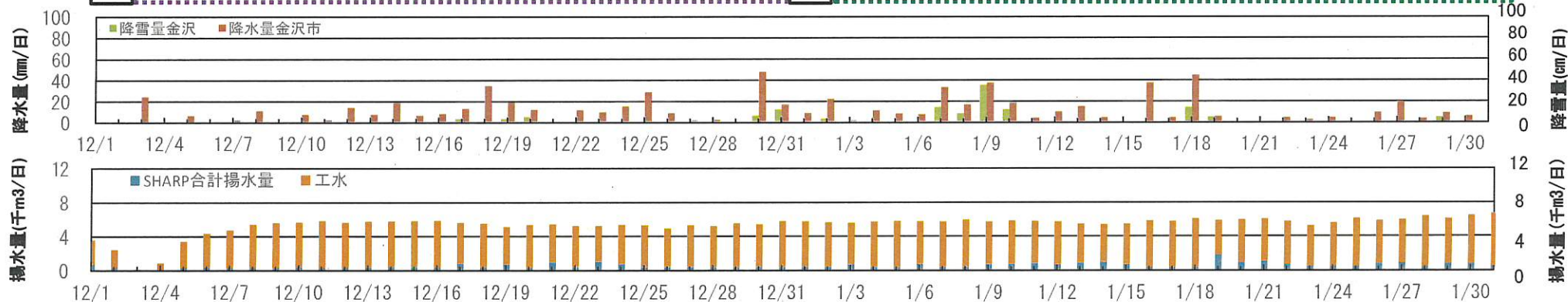
R3.1月地下水位状況

1月初旬から中旬にかけて断続的に降雪があり、散水消雪井戸の稼働によると推定される水位低下が認められます。

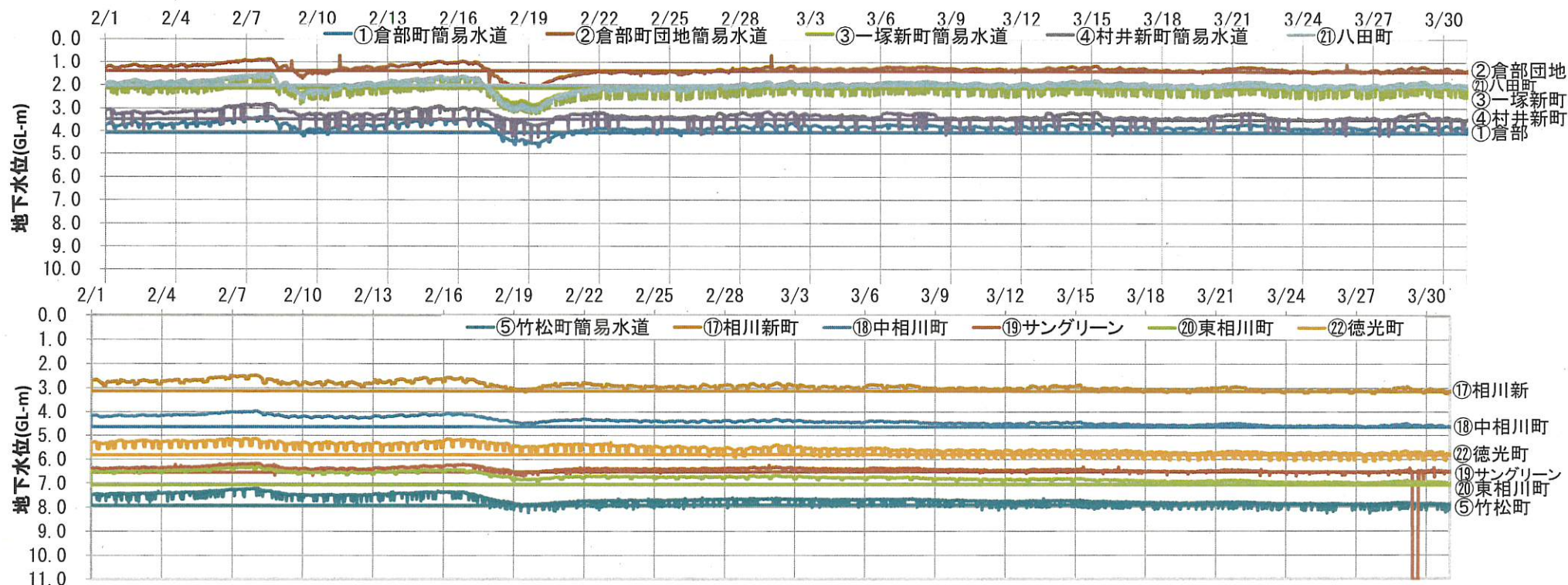
地下水位の低下は金沢市に近いエリアで大きくなっています。断続的な降雪が消息すると地下水位は回復傾向を示しており、1月末には地下水位は降雪前のレベルまで戻っています。

松任工水を含めた地下水使用量は日平均で5,800m³でした。

説明



松任工業用水道 令和2年度地下水位影響調査結果全23箇所の地下水位経時変化図（R3.2月～R3.3月）（1/2）



2月
説明

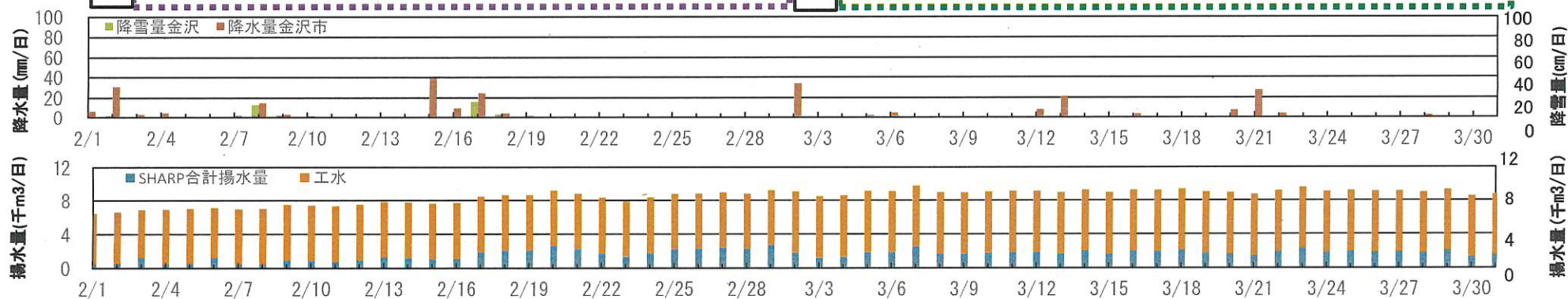
R3.2月地下水位状況

降雪による散水消雪井戸の一斉稼働の影響によると推定される水位低下が認められますが、降雪量も少なく、水位低下量も小さい状況です。
消雪井戸が停止すると地下水位は回復傾向を示しています。
松任工水を含めた地下水使用量は先月下旬より徐々に増加し、今月の日平均使用量は7,800m3でしたが、地下水位に大きな変化は認められません。

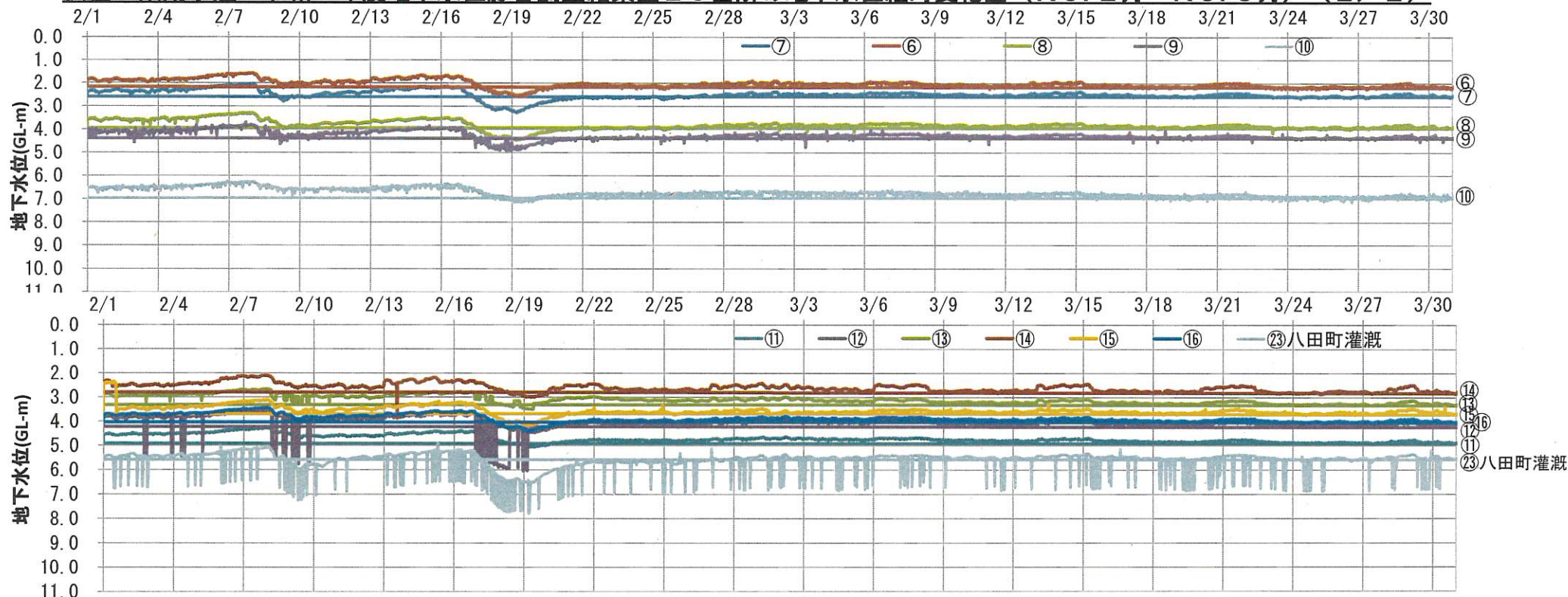
3月
説明

R3.3月地下水位状況

3月中の地下水位は、降雪もなく概ね安定していますが、降水量が平年以下であるため、わずかに低下傾向を示しています。水位自体は昨年度と同程度のレベルです。
松任工水を含めた今月の地下水使用量は日平均使用量は前月より約1,100m3増加し約9,000m3です。一日当たりの使用量は先月後半から大きな変化はありません。



松任工業用水道 令和2年度地下水位影響調査結果全23箇所の地下水位経時変化図 (R3.2月~R3.3月) (2/2)



2月

R3.2月地下水位状況

降雪による散水消雪井戸の一斉稼働の影響によると推定される水位低下が認められますが、降雪量も少なく、水位低下量も小さい状況です。
消雪井戸が停止すると地下水位は回復傾向を示しています。
松任工水を含めた地下水使用量は先月下旬より徐々に増加し、今月の日平均使用量は7,800m³でしたが、地下水位に大きな変化は認められません。

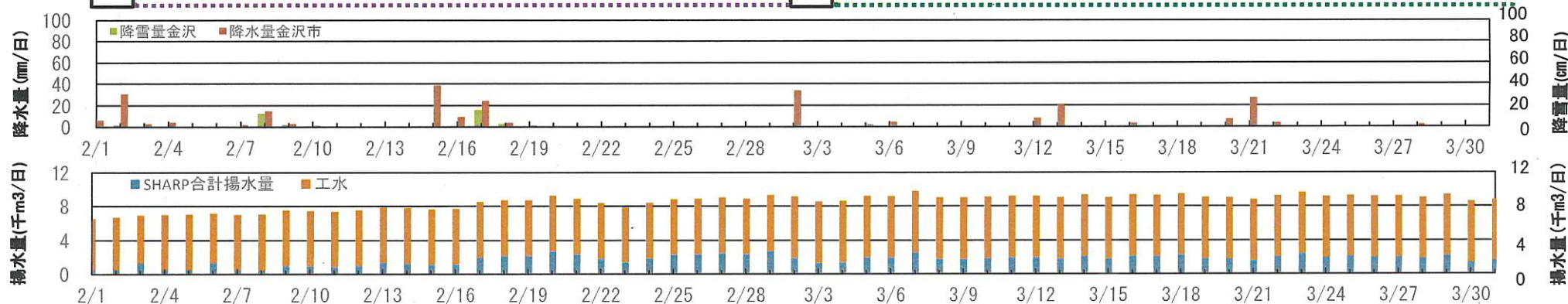
説明

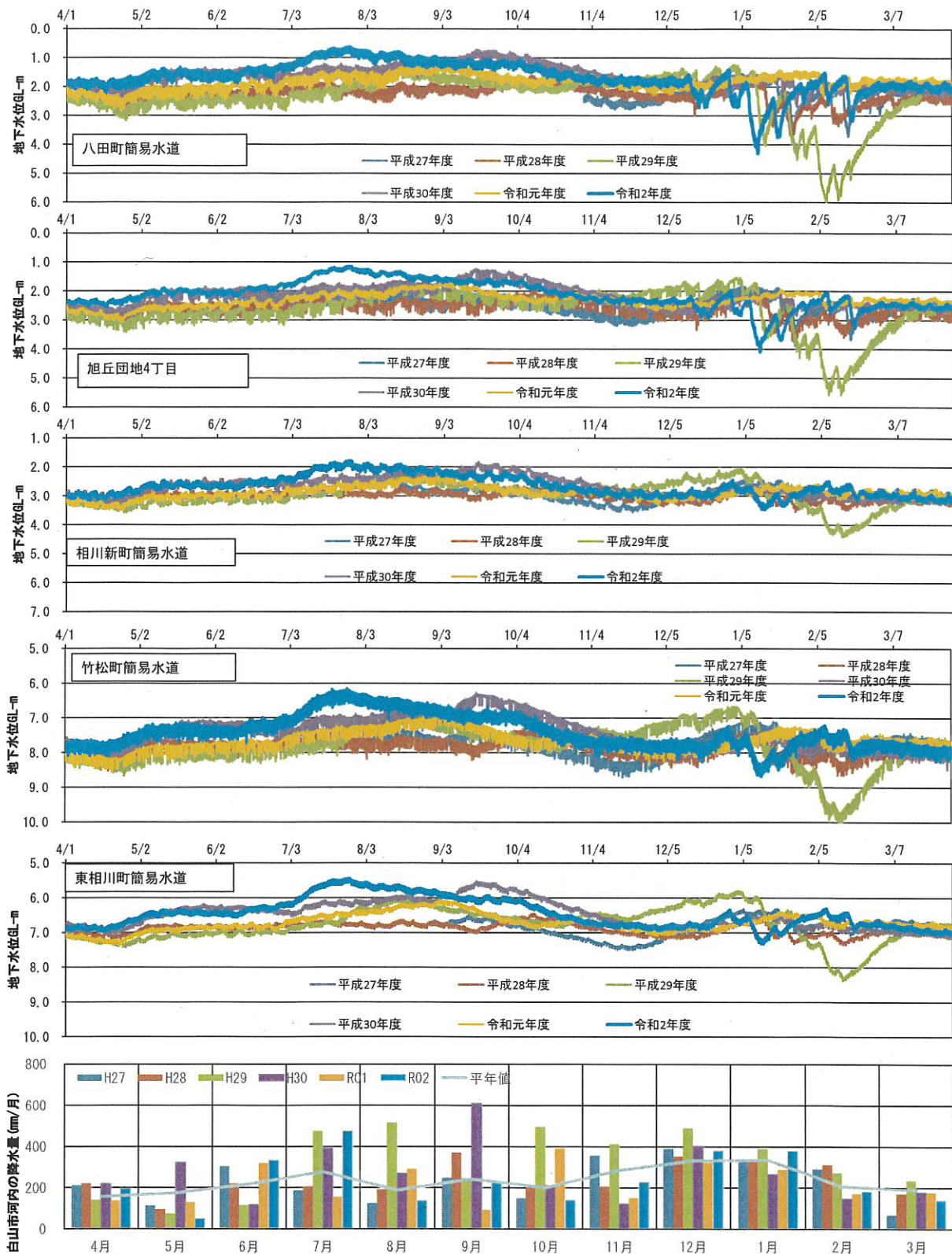
3月

R3.3月地下水位状況

3月中の地下水位は、降雪もなく概ね安定していますが、降水量が平年以下であるため、わずかに低下傾向を示しています。水位自体は昨年度と同程度のレベルです。
松任工水を含めた今月の地下水使用量は日平均使用量は前月より約1,100m³増加し約9,000m³です。一日当たりの使用量は先月後半から大きな変化はありません。

説明





令和2年度の地下水位総括

平成27年6月から約5年半の間当該地域の地下水位を観測しているが、令和2年末の地下水位はほぼ平年並みとなっている。

年間を通して見ると今年は6月から7月の降水量が前年に比べて多かったため僅かに地下水位も上昇傾向を示していたが、冬季は積雪も多くこれにより道路消雪井戸の一斉稼働によると考えられる地下水位への影響が大きく表れた。しかし、降雪も収まり道路消雪井戸の稼働も落ち着くと、地下水位は速やかに平年並みまで回復した。

10月より受水企業が変更となり地下水使用量についても、令和2年度は年明けより使用量も順次多くなり年間を通じて最大で9,600m³/日、平均的には約5,800m³/日となっている。

平成29年7月以降松任工水が運用されており前掲の使用量には松任工水からの供給分も含まれている。竹松町を中心とした広い範囲に複数の井戸を配置し、交互に稼働することで周辺への影響が極力小さくなるよう配慮されており、竹松町の水位観測結果においても、特に影響は認められていない。

しかしながら、今年は大雪による道路消雪井戸の一斉稼働により12月～2月にかけて当該地域の地下水位にも大きく影響があったことが観測結果から明らかとなった。今後も観測を継続し、地下水の適正利用に努めたい。